

たちつとちぎ

JA全農とちぎ 通信

2023
12
Vol.273



特集

令和6年産 いちご王国・栃木流通懇談会
令和5年産 栃木米新CM発表会

トピックス

スカイベリー目揃え会を開催
全国肉用牛枝肉共励会 栃木県勢が大健闘!
福田屋で宇都宮産ユリの展示即売会を開催
冬春トマトの目揃え会を開催
栃木トマト消費拡大に向けて
栃木県産大豆の生産拡大・安定供給に向けて
「フローズンヨーグルト とちあいか」「農協ミルク いちご練乳」全国販売!
栃木県幼稚園連合会へ栃木米3トンを贈呈!
中古農機お買い得市を開催
冬にら統一目揃え会を開催

CONTENTS

- ・お知らせ
特別栽培米『日光市産コシヒカリ』を新発売!
- ・簡単レシピ
『きのこことえびのクリーム煮』
- ・子牛市場情報
- ・JAタウンからのお知らせ
- ・行事予定
- ・編集後記



©栃木県 とちまるくん

JAグループ栃木／JA全農とちぎはSDGsが目指す社会の実現に貢献しています

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



特集

令和6年産 いちご

園芸部は11月14日、ヒルトン東京お台場にて、これから本格化する“栃木のいちご”のシーズンに向けて「令和6年産いちご王国・栃木流通懇談会」を盛大に開催しました。第1部の情報交換会、第2部の懇談会の2部制で開催し、市場・仲卸などの流通関係者、栃木県副知事・県関係者、県内各JAの組合長ら約190名が出席しました。

第1部の開会にあたり、主催者を代表して、本会運営委員会の菊地会長、栃木いちご消費宣伝事業委員会の池田委員長が挨拶を行い、「今年のいちごの生育も順調。

JAグループ栃木として、生産者・JAが一丸となって、消費者の皆様へ『安全で安心ないちご』をお届けできるよう努めていく。今年も栃木のいちごの更なるご愛顧をお願いしたい」と意気込みを語りました。

情勢報告では、本会から令和6年産いちごの販売基本方針を報告し、6年産の販売目標を286億円と、過去最高の5年産の販売額を更に上回る金額を掲げ、目標金額必達に向けての具体策などを示しました。

県からは、栽培状況や担い手確保・生産拡大に向けた対策などが報告され、天利副知事から「現在、いちご王国・栃木戦略やいちご王国プロモーションをオール栃木で取り組んでいる。今後も、全国に誇れるいちごを届けていきたい」と挨拶がありました。

その後は情報交換に移り、産地を代表して各JAの組合長から、6年産いちごの生育状況や取り組みなどが発表されました。流通関係者からは京浜栃木青果物流通協議会の岩崎副会長より、6年産いちごの販売に向けての決意表明がありました。



天利副知事



菊地会長



各JAの組合長が産地情報を報告



京浜栃木青果物流通協議会 岩崎副会長による決意表明

王国・栃木流通懇談会

第2部の懇談会では、栃木のいちごサポーターとしてとちぎフレッシュメイト、「コリラックマ」、栃木のいちごの王子様「トチゴくん」が登場しました。とちぎフレッシュメイトには、中村県本部長から今後のいちごのPRに期待を込めて、いちご「とちあいか」が贈られました。

その後、栃木のいちご大使任命式を行い、今年で8年連続となる「コリラックマ」を栃木のいちごのPR大使として任命し、栃木いちご消費宣伝事業委員会の池田委員長から「コリラックマ」へ、たすきが授与されました。



とちぎフレッシュメイトに「とちあいか」を進呈する中村県本部長



「栃木のいちご大使」任命式の様子



スカイベリー目揃え会を開催

園芸部は11月21日、「令和6年産スカイベリー第1回統一目揃え会」を開催し、生産者やJA担当者、市場関係者ら約40名が出席しました。

協議事項では出荷指導規格を確認するほか、申し合わせ事項としてカラーチャートを集荷場着「2」とし、「消費者に手に取ってもらえる魅力ある商品づくり」をすることを改めて確認しました。

各産地からは「病害虫の被害も少なく概ね生育は順調」「例年より遅れ気味で、12月中下旬頃出荷う見込み」などの情報提供がありました。

市場関係者からは「年末年始の需要期に向けて売り場を確保していく。スカイベリーはワンランク上の品種として期待されているので、品質重視の出荷をお願いしたい」などの意見が寄せられました。



特集

令和5年産 栃木米新CM発表会 U字工事となかやまきに君が楽しく栃木米をPR！

米麦部は10月23日、都内で「令和5年産栃木米新CM発表会」を開催し、今年10月から新たに放送を開始した栃木米新CMを発表しました。



委嘱状授与の様子

発表会が始まると、昨年からの栃木米アンバサダーとして活躍するU字工事のお二人が、オリジナルつなぎを着用し、「美味すぎてコメンね〜」と栃木米CMの振り付けを踊りながら登場しました。

新CMの発表前には、菊地会長と中村県本部長がそれぞれ益子さん、福田さんに「昨年に引き続きよろしくお願ひします」と期待を込め、改めて「栃木米アンバサダー」の委嘱状を手渡しました。

その後、今年10月から放送を開始した新たな栃木米CMを放映し、制作にあたってのコンセプトや裏話を交えながら、メディアや関係者へ初のお披露目をしました。

新CMの発表後には、「パワー!!」のかけ声とともに、なかやまきんに君がスペシャルゲストとして登場し、会場を沸かせました。なかやまきんに君は、体づくりに効果的なお米の食べ方などを紹介し、「お米は栄養素が豊富で、すばらしい食材。ダイエットや体づくりに最適なんです！」とお米を食べることの大切さを訴えました。U字工事のお二人は、秋の稲刈りツアーの思い出話や今年の新米を食べた感想を語りながら、なかやまきんに君と楽しいトークを繰り広げました。

試食コーナーでは、なかやまきんに君・益子さん・福田さんが新米のコシヒカリ・とちぎの星・なすひかりの食べ比べを行い、品種の特徴を食レポートしてそれぞれのお米の魅力をアピールしました。

その後、3人はおむすび専門店「ほんのり屋」とコラボしたとちぎの星おむすびの試食も行い、「おむすび大好き!」「このおむすび本当においしい!」と絶賛しました。

「パワー!!」



栃木米PR動画
YouTubeにて公開中!

栃木米新CMは
こちら



とちぎの星×U字工事
コラボ動画も合わせてチェック!

前編



後編



栃木米を頬張るなかやまきんに君とU字工事

全国肉用牛枝肉共励会 栃木県勢が大健闘！

10月28日、東京都中央卸売市場食肉市場にて「2023年度全国肉用牛枝肉共励会」が開催されました。本共励会は、全国の肉用牛肥育農家が枝肉の仕上りを競う国内最大規模の品評会であり、全国から合計500頭が出品されました。

出品にあたっては現地選考会を通して選抜を行い、本会扱いでは和牛去勢の部に20頭、和牛雌の部に1頭、乳用去勢及び交雑去勢の部に9頭が出品されました。

和牛去勢の部では、JAうつのみやの上野一弘さん・石戸榮さんがそれぞれ優秀賞1席(3位)・優良賞3席(12位)、和牛雌の部では、JAおやまの近藤美好さんが優良賞1席(5位)、乳用去勢及び交雑去勢の部では、JAしおのやの(株)小池畜産が優良賞1席(3位)に選ばれるなど、全国レベルの共励会で栃木県の多くの生産者が上位入賞を果たしました。



和牛去勢の部で3位に入賞した上野さん

福田屋で宇都宮産ユリの展示即売会を開催

園芸部は、10月27日から29日の3日間、宇都宮市やJAうつのみやと連携してユリの展示即売会を開催しました。

福田屋宇都宮店内にあるお花屋さん『花樹歩』にて、宇都宮産オリエンタルユリの販売や品種展示、アンケートなどを実施し、期間中にはJAうつのみや球根切花専門部員やJA担当者、市の職員が自ら店頭に立ち、訪れた消費者へユリの魅力をアピールしました。

大輪の花が特徴のオリエンタルユリに多くのお客様が足を止め、3日間で合計300本以上のユリが販売されました。



ユリをPRするJAうつのみやの担当者

冬春トマトの目揃え会を開催

園芸部は10月30日、「令和6年産栃木冬春トマト第1回統一目揃え会」を開催し、各JAのトマト部会長やJA担当者、県など約40名が出席しました。

県からは生育状況の報告があり、本会からは他県産の動向なども踏まえた販売情勢を報告しました。

協議の中では出荷規格や申し合わせ事項の確認、現物目揃えを行いました。カラーチャートについては今年の暖冬傾向に注視しつつも、例年通りの市場着「8」に設定をしました。

産地からは「やや小玉傾向で裂果が見られるが、今後は回復していく見込み」などの情報提供がありました。

栃木トマト消費拡大に向けて

目揃え会終了後は、「令和6年度第1回栃木トマト消費宣伝事業委員会」を開催し、令和6年度の消費宣伝事業の方向性や具体策などについて協議を行いました。

厳寒期の消費拡大、シーズンを通した売り場の維持拡大を目指すことを基本方針とし、首都圏の主婦層をメインターゲットに据えた中で、店頭での販促を中心に消費宣伝活動を展開することを決めました。

このほか取り組み具体策として、主産県や他業種との連携、各メディアを活用したPRやイベント参画などを示しました。

最後に役員改選を行い、JAかみつがの和久井貴史さんが新委員長に選出されました。

令和6年度栃木トマト消費宣伝事業委員会（敬称略）

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	和久井 貴史	JAかみつがハウストマト部会
副委員長	蛭田 勝博	JAなすのトマト部会
副委員長	篠田 安彦	JAおやまトマト部会

12 つくる責任
つかう責任



栃木県産大豆の生産拡大・安定供給に向けて

12 つくる責任
つかう責任

産地と実需で情報共有

米麦部は10月31日、「令和5年度栃木県大豆産地視察会」を開催し、実需者、産地JAの担当者、県担当者ら約40名が参加しました。

1日を通してJAなすの・JAしおのや・JAうつのみや管内の圃場を視察し、大豆の生育状況を確認しました。

視察後は宇都宮市内のホテルニューイタヤにて、視察の総括や、産地と実需間での意見交換を行いました。県からは視察の結果も踏まえて「平年並みだが高温の影響で一部ではやや小粒傾向」など生育状況についての説明がありました。

実需者は、「輸入コスト高などの影響で国産大豆の需要が一層高まっている」と説明し、品質も良く大消費地に近い産地として、栃木県産大豆の今後の生産拡大に期待する声が寄せられました。



圃場視察の様子(宇都宮市)

「フローズンヨーグルト とちあいか」「農協ミルク いちご練乳」全国販売!

12 つくる責任
つかう責任

17 パートナシップで
目標を達成しよう

協同乳業・ファミリーマート・JA全農がコラボ!

●フローズンヨーグルトとちあいか

この度、協同乳業株式会社と株式会社ファミリーマートとコラボし、栃木県産とちあいかを使用した冷凍タイプのヨーグルト『フローズンヨーグルト とちあいか』を、全国ファミリーマート(約16,500店舗)で11月21日より販売開始しました!

国産原料の価値訴求および生産者を応援するため、JA全農の「ニッポンエール」ブランドと協同乳業の「メイトー」ブランドがコラボしています。

11月7日には、3者で栃木県庁を訪れ、福田県知事に商品の紹介と発売報告をしました。試食をした知事は「いちごの香り、果肉のつぶつぶした食感、とちあいかのまろやかな甘さが楽しめる、とても贅沢な味わい」と商品を絶賛しました。



内容量: 110ml
価格: 189円(税込)

つぶつぶ果肉入りで
甘すぎず、
適度な酸味との
バランス。
カロリー控えめも
嬉しい!



商品を試食する福田県知事

●農協ミルク いちご練乳

協同乳業(株)とJA全農のコラボ商品『農協ミルク いちご練乳』も、同じく11月21日より全国ファミリーマートで先行販売を開始し、12月4日から一般販売となります。

本商品は規格外の栃木県産いちごを原料に使用しており、フードロス削減にも貢献します。牛乳本来の美味しさを感じつつ、練乳を加えることでコクのある味わいに仕上げました。



内容量: 180g

ファミリーマートで商品を見かけた際にはぜひお試しください!

栃木県幼稚園連合会へ栃木米3トンを贈呈！



米麦部は10月31日、栃木県幼稚園連合会への県産米贈呈式を行いました。今回で4回目となるこの取り組みは、栃木の将来を担う子どもたちに日本の大切な食文化である“お米”の美味しさを実感してもらい、県産米の消費拡大につなげることが目的です。更には、実際に食べていただくことで“食”への意識を高めてもらう食育の一環でもあります。

県産米（新米）の「コシヒカリ」「なすひかり」「とちぎの星」の3銘柄を各5キロ（計15キロ）ずつ、県内加盟幼稚園・こども園193カ所に贈呈しました。

中村県本部長は「子どもたちには3銘柄それぞれの品種の違いを感じて、お米に興味を持ってほしい。たくさん食べて元気になってもらいたい」と話し、船田理事長は「美味しいお米は心を幸せに、体を丈夫にしてくれる。栃木のお米の素晴らしさを子どもたちに十分感じてもらいたい」と話しました。



船田理事長（右）にお米を贈る
中村県本部長（左）



中古農機お買い得市を開催



生産資材部は11月8日、宇都宮市内にある農業機械総合センターで、中古農機やお買い得農機の大展示販売会を開催しました。近年の生産資材価格の高騰を背景に、比較的手ごろな価格で購入できる中古農機の需要は一層高まっており、6回目を迎える今回は県内各地から約400人もの生産者が会場を訪れました。



119点の中古農機のほか、各メーカーからのお買い得商品133台が出品され、トラクター・コンバイン・田植え機をはじめ、大小さまざまな農機が会場いっぱいに並びました。



冬にら統一目揃え会を開催



園芸部は11月9日、「令和6年産栃木冬にら統一目揃え会」を開催し、各JAのにら部会長やJA担当者、県など約50名が出席しました。

県からは生育状況と今後の栽培管理について報告があり、夏場の高温で生育が遅れている事を踏まえたアドバイスがありました。

協議の中では、出荷規格表や申し合わせ事項の確認をしたのち、現物の目揃えを行いました。

市場からは「数も品質も確保することで、価格の安定やお客様の信頼につながる」「例年と違う動きになることが予想されるので、少しでも精度の高い産地情報を繋いでほしい」などの声が上がりました。



現物目揃えの様子

お知らせ

特別栽培米

『日光市産コシヒカリ』を新発売!



パールライス部では、環境に配慮して生産されたお米“特別栽培米”を原料にした精米商品を新たに開発・製造し、11月27日より県内のヨークベニマル全店舗で販売を開始しました!

社会的にも環境問題への関心が高まる中で、本商品は消費者ニーズに対応しつつ食味にもこだわった商品となっております。お近くのヨークベニマルでぜひ、お買い求めください。

新商品 <特別栽培米 日光市産コシヒカリ 5kg>



①特別栽培米を使用

特別栽培米とは、県や地域によって定められた慣行レベルに比べ、節減対象の農薬使用と化学肥料の窒素成分量を5割以下に抑えて栽培されたお米です。

②包材の工夫

パッケージには、本来ならば廃棄されてしまうお米を原料としたバイオマスプラスチック「ライスレジン®」を約10%使用。脱炭素やお米の廃棄ロスにも貢献します。

③循環型農業への取り組み

地域内で生産された規格外の麦を田んぼの土壌改善に活用する、循環型農業に取り組んでいます。

※「ライスレジン」はバイオマスレジン南魚沼の登録商標です。

簡単レシピ

きのこことえびのクリーム煮



(アドバイス表2022年12月あじわいコースP31)

【材料】(2人分)

・ブラックタイガー海老 …… 6尾	・小麦粉 …… 大さじ2
・マッシュルーム …… 6個	・生クリーム …… 1/2カップ
・エリンギ …… 2本	・黒こしょう …… 適量
・しいたけ …… 4個	・パセリ(みじん切り) …… 適量
・玉ねぎ(薄切り) …… 1/2個	・バゲット …… お好みで
・バター …… 20g	・水 …… 1カップ
・塩・こしょう …… 少々	・コンソメ …… 小さじ2
・白ワイン …… 1/4カップ	・お好みのナッツ(粗めに砕く) …… 10粒

■作り方■

- ① えびは解凍後、殻を剥き背ワタを取り水気を拭き取る。
- ② きのこと類は食べやすい大きさに切る。
- ③ 鍋にバターを中火で溶かし、玉ねぎを加え透き通るまで炒める。
①と②を加えて炒め、焼き色が付いたら塩・こしょうを振る。
- ④ ③に白ワインを回し入れ、ひと煮立ちしたら、小麦粉を振り入れて焦がさないように炒める。
- ⑤ ④を加え煮立ったらふたをし、弱火で5~6分程煮る。最後に生クリームを加え、弱火で3分程煮たら器に盛り付け、黒こしょうを振る。
- ⑥ 器に盛り付けパセリを散らし、お好みでバゲットを添える。

ポイント!



栃木推進課 管理栄養士
松原舞子さん

合わせるきのこ類は
お好みのもので大丈夫ですが、
マッシュルームが入ると
洋風感がグッとアップします♪

ふれあい食材についてはこちらから!





子牛市場情報

令和5年度11月矢板家畜市場成績書

	性別	上場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重(日令)	単価(kg)	前回比
1日	雌	169	167	1,105,500	108,900	475,140	287(291)	1,651	26,839
	雄	1	1	843,700	843,700	843,700	313(282)	2,695	—
	去勢	215	211	1,272,700	239,800	708,233	318(287)	2,220	140,966
	合計	385	379	1,272,700	108,900	605,882	305(289)	1,985	92,981
2日	雌	177	175	884,400	171,600	478,317	294(290)	1,626	17,720
	雄	—	—	—	—	—	—	—	—
	去勢	199	196	1,003,200	58,300	626,073	321(292)	1,948	58,094
	合計	376	371	1,003,200	58,300	556,377	308(291)	1,830	36,865
11月期合計	雌	346	342	1,105,500	108,900	476,766	290(290)	1,638	22,372
	雄	1	1	843,700	843,700	843,700	313(282)	2,695	—
	去勢	414	407	1,272,700	58,300	668,667	320(289)	2,088	101,043
	合計	761	750	1,272,700	58,300	581,394	306(290)	1,894	65,197
概況	11月の矢板家畜市場は、761頭上場にて750頭が成立し、前年同月比41頭増となりました。平均価格は対前月比雌22,372円高、去勢101,043円高となりました。 多数の購買者にご来場いただき、雌・去勢ともに活発な取引となりました。 購買者数 1日目：161人 2日目：140人								

○次回開催/2023年12月7日～8日 出場予定:各350頭(2024年1月の開催は、11日・12日です。)

とちぎ新鮮倉庫からのお知らせ



季節商品のご紹介

「とちあいか」

今注目を集める栃木県産オリジナル品種「とちあいか」の登場です!

ジューシーで酸味が少なく、際立つ甘さが特徴です。そのまま食べてもちろん、スイーツと合わせても相性抜群です!クリスマスや贈り物にもぴったりです★

他にも厳選した『とちぎの味』を取り揃えております♪

JAタウン



とちぎ新鮮倉庫 検索

12月の行事

- 2日(土) とちぎの食肉まつり
- 3日(日) とちぎの食肉まつり
- 7日(木) 矢板子牛市場 畜産部
- 8日(金) 矢板子牛市場 畜産部



★1日・22日(金) CRT栃木放送(7:33～)

★6日・13日・20日・27日(水) RADIO BERRY(17:15～)

編集後記



12月になりました。本格的な冬がやってきますね。今年は暖冬のはずなのですが、今のところすごく寒いです。皆様も暖かくお過ごしください。

今年も残り1か月。1年前に立てた今年の目標は、残念ながら達成できそうにありません。目標を立てるときはあまり欲張らず、「小さくコツコツ」がよさそうですね。☺

2023年ラストスパート頑張りましょう! (みう)

栃木の いちごを 食べよう



とちおとめ

あまずっぱくて、ジューシー！
全国No.1のシェアを誇る
主力品種

とちあいか

大粒でジューシー、
キワだつあまさ！
みんなに愛される
ニューフェイス

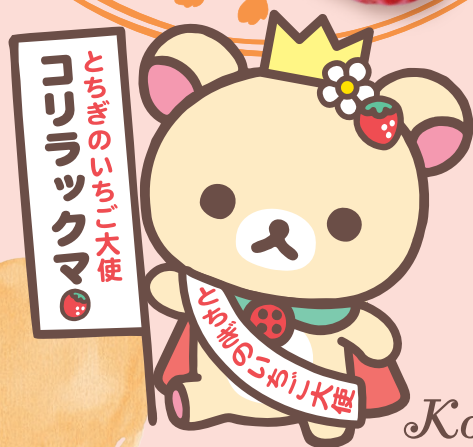


スカイベリー

おおきくキレイで、
美しい！ベリーおいしい
三ツ星いちご



毎月25日は
とちぎのいちごの日



Korilakkuma™
©2023 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.



栃木のいちごは、安全・安心。
栃木県では、放射能モニタリング検査を行い、
安全が確認されたいちごだけを出荷しています。

JA 栃木いちご消費宣伝事業委員会



この印刷物は環境にやさしい植物油
インクと再生紙を使用しています。



私たち全農グループは、生産者と消費者を
安全で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。